



海田南小学校
 通級指導教室だより No.12
 平成31年 1月 11日(金)

冬休みもあっという間に終わり、いよいよまとめの学期となりました。
 かがやき教室では、3学期1回目の授業で、課題をしぼって目標を立て、3学期終わりの自分に向けてお手紙を書きます。
 春休み前に読み返し、振り返りをする予定です。
 目標を達成する為に、今何をすればよいのか考え、残りの日々を充実したものにしていきたいと考えています。

『できたかな？』
 これだけは、絶対に毎日する！という目標を一つ決めて、達成できたらシールを貼るという取り組みをしている子もいます。



指示を出す時、こんなことに気をつけています

① 複数の指示を同時に出さない

例えば・・・
 「ボールを片付けたら、タイマーをセットして、着席しましょう。」
 この場合、3つの指示を一度に聞き取らないといけません。
 聞く力が充分ついていない場合、前半に言われた内容を忘れてしまい、何もせずに着席してしまうことがあります。
 指示は、1つずつ簡潔に伝えていくことが大切だそうです。

② 突然言わない

「お願いがあります。」や「今から大事なことを2つ言いますよ。」など、前置きをして注意をひいておくことで、聞きのがしが減ります。

NG ×	OK ○
<ul style="list-style-type: none"> ・ちょっと待って ・後でね ・ちゃんと掃除して ・もっと食べなさい ・きれいに片付けて 	<ul style="list-style-type: none"> ・5分待ちましょう ・10時にやりましょう ・ぞうきんで、机を10台拭きましょう ・後2個食べましょう ・はさみと色鉛筆は、お道具箱に入れましょう

ビジョントレーニングって何？

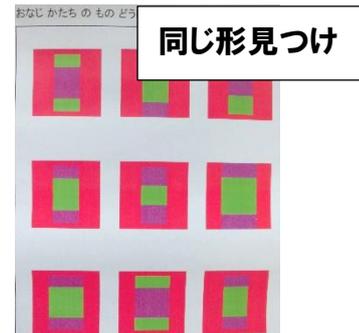
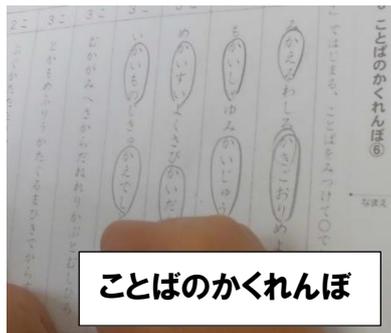
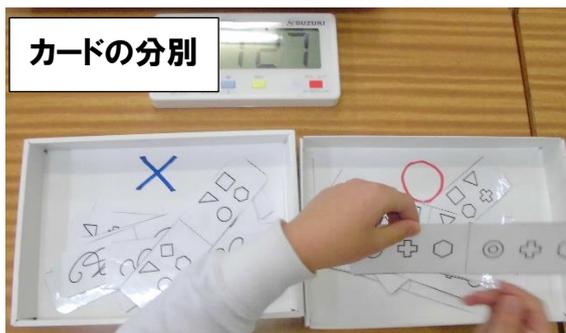
通級指導教室で、毎回おこなっているビジョントレーニング。
一体どんなものなの？と思っておられる方もいらっしゃるかもしれません。

ビジョントレーニングとは、物を目で捉える力・目から取り込んだ情報を正しく脳で
処理する力・情報に合わせて体の動きを調整したりする力を高めるトレーニングです。
「見る力」が弱いと、例えば下記のようなことがおこりやすくなります。

- ・ 板書をノートに書くことが苦手
- ・ 写生など、見たままの状態を絵に描くことが苦手
- ・ 音読の時、文字や行を読み飛ばす
- ・ 定規の目盛りが読めない
- ・ 漢字がなかなか覚えられない
- ・ 算数の図形問題が苦手
- ・ 運動に不器用さが見られる など



そこで、通級指導教室では、さまざまなビジョントレーニングをおこなっています。



「見る力」の弱さが原因の場合、子ども自身も「ものすごく気を付けて頑張っているのにできない」「やりたいのに、うまくできない」など、大きなストレスを感じています。
さらに、本人の努力不足ではないのに、「頑張りが足りない」「やる気がない」と思われて、叱責されることもあるかもしれません。

それが積み重なると、自己肯定感や学習意欲も低下してしまうので、周囲の理解がとても大切です。

小さなことでも褒めてもらえたり、努力や良い言動を認めてもらえることで、どんな行動が良いとされるのか判断がしやすくなります。
また、身近な大人に褒めてもらえると、子どもの意欲がさらに高まり、頑張る気持ちが持続します。

通級指導教室では、ハードルを高くしすぎず、スモールステップで取り組んでいます。
特に、子ども達が楽しんでトレーニングできる環境づくり・やってみいたいと思える教材づくりを心がけています。

子ども達の困難さやストレスを軽減できるよう、取り組んでいきたいと思っていますので、今後とも ご協力よろしくお願い致します。

